



ふくもっちゃんの部屋

～参考資料～

西口ライブラリーの奥の方、学習席近くにある大きな本たち。
貸出できない資料のため、手に取ったことがない方も多いと思います。
今回はそんな参考資料をとりあげます。



★参考資料★

辞典・年鑑・データブックのような調べ物に使う資料のこと。
背表紙に R(Reference=参考資料)のラベルがついています。
その中からお勧めを紹介します。
(こちらはすべて貸出できません。館内での利用をお願いします)

- 『日本国勢図会 日本がわかるデータブック』(R351ニホン25)
日本国内の最新データを表やグラフでわかりやすく纏めた1冊。世界版もあります。
- 『原色日本植物図鑑』(R470ゲンシ)
初版 1964 年の植物図鑑。詳細な説明と図版を用いて植物の種類を知ることができます。
- 『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』(R813クラシ)
日本語に多く登場するオノマトペの辞典。国語の勉強でも読むだけでも面白いです。



～朗読会「ことのはの時間」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和7年12月20日(土) 午後2時～(40分程度)
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

印は休館日

図書館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

印はふくよみの日貸出2倍デー
年末特別2倍デー

2025年11月1日発行

編集:福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023
発行:福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

≪図書館ホームページ≫



福島市西口ライブラリー広報

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2025年

11・12月号

新着本案内

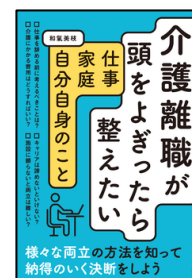


『ホロコーストを知るための101の質問』
マルクス ロート 著 田野 大輔 訳
白水社(209ロトマ)

第二次世界大戦時、ドイツで起きたホロコーストについて101の質問形式で紹介している一冊です。ユダヤ人迫害が生まれた経緯、関わった組織や抵抗した人々、戦後に世界へ与えた影響までまとまっています。



『作文』
小山田 浩子 著
U-NEXT(Fオヤマ)
家族の戦争体験について作文を書き、学校で発表した慶輔と苑子。慶輔は祖父の体験としてまとめた作文に嘘を混ぜていた。先生に内容の真偽を疑われ、苑子の作文こそ嘘だと彼女を責めるが…。戦争を語り継ぐことをテーマにした作品です。



『介護離職が頭をよぎったら整えたい仕事・家庭・自分自身のこと』
和氣 美枝 著/翔泳社(366ワキミ)
現役で働きながら20年以上実母を介護している著者が、介護の準備や基礎知識、心構えなどについて、自身の経験を基に解説します。介護者が、介護だけではなく自分の人生も大事にするための情報が満載です。



『叱らない時代の指導術』
島沢 優子 著
NHK出版(780シマザ)
スポーツ界では体罰を用いる指導が見直され、選手の主体性を育む手法が注目されている。失敗を叱責せず問いかけて考える力を養う、意欲を引き出す環境整備に励むなど、暴力に頼らない手法を実践する指導者18人の人材育成術に迫る。



『健康長寿の人が毎日やっている肝臓にいいこと』
浅部 伸一 著
自由国民社(493アサバ)
お酒をあまり飲まない人やそれほど太っていない人にも増えている脂肪肝予備軍。肝臓に脂肪が溜まる原因には生活習慣が大きく関わっています。糖質を意識した食事や自宅でできる簡単な運動など、肝臓を健康に保つコツを教えます。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

「進歩」を疑う スラヴォイ・ジジェク 著 早川 健治 訳／NHK 出版(139ジジエ)	サムライ漂海記 天野 純希 著／光文社(Fアマノ)
図解般若心経がよくわかる本 玄侑 宗久 監修 リベラル社 編集／リベラル社(183ズカイ)	HIPS 機械仕掛けの箱舟 岡崎 琢磨 著／光文社(Fオカザ)
児童福祉司になろう! 川松 亮 著／青弓社(369カワマ)	じゃないほうの歌いかた 佐々木 愛 著／文藝春秋(Fササキ)
洋服の歴史 ヘニー・ハラルド・ハンセン 著 長谷川 圭 訳／パイインターナショナル(383ハンセ)	あの夏のキミを探して 汐見 夏衛 著／スターツ出版(Fシオミ)
腰部脊柱管狭窄症 銅冶 英雄 著／新星出版社(494ドウヤ)	英雄の輪 真藤 順丈 著／講談社(Fシンド)
毎日おいしい「せいろ」ごはん だいぼう かおり 著／PHP 研究所(596ダイボ)	或る集落の● 矢樹 純 著／講談社(Fヤギジ)
農業ビジネス 山口 亮子 著／クロスメディア・パブリッシング (612ヤマグ)	カエルみたいな女 青柳 碧人 著／双葉社(PF アオヤ)
60 分でわかる!特定商取引法超入門 村上 嘉奈子 編著 宗宮 英恵ほか 著／技術評論社(673ムラカ)	黄昏時の魔女 沖田 円 著／実業之日本社(PFオキタ)
松坂大輔怪物秘録 石田 雄太 著／文藝春秋(783マツザ)	輪廻の果てまで愛してる 日本文藝家協会 編 篠田 節子 佐川 恭一ほか 著／文藝春秋(PF リンネ)
満月が欠けている 穂村 弘 著／ライフサイエンス出版(914. 6ホムラ)	スパイダー・ゲーム ジェフリー・ディーヴァー 著 イザベラ・マルドナード 著 池田 真紀子 訳／文藝春秋(P933デイバ)

作家と



頭痛

片頭痛を患っていた芥川龍之介は、自殺の直前に書き上げた作品『歯車』で自身の頭痛について次のように記述しています。

「僕の視野のうちに妙なものを見つけ出した。妙なものを？—と云うのは絶えずまわっている半透明の歯車だった。(中略)半ば僕の視野を塞いでしまう、が、それも長いことではない、しばらくの後には消え失せる代わりに今度は頭痛を感じはじめる」

芥川が歯車と表現したものは、片頭痛の前兆症状である閃輝暗点です。視界に現れたジグザグ模様がチカチカ光りながら拡大していくという症状の特徴を正確に描いています。作中には主人公が歯車の出現と頭痛を恐れる描写が複数あることから、彼自身も苦しめられていたことが伺えます。芥川の自殺には片頭痛も大きく関わっていたのかもしれません。

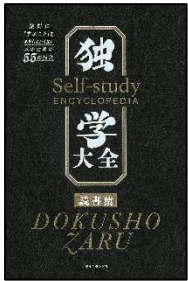
参考文献：『文豪死す』芥川 龍之介ほか 著／新紀元社（F ブンゴ）
『「片頭痛」からの卒業』坂井 文彦 著／講談社（S493サカイ）

ライブラリアンの

展示★名作案内

知的的好奇心

～知りたい気持ちが止まらない！～



『独学大全』

読書猿 著

ダイヤモンド社(379ドクシ)

学びたい！始める時は強く思っても、気持ちは中々継続しないもの。挫折を乗り越え、どう継続していくか。その方法と活用方法がこの一冊に。
道に迷った時にどこに戻れば良いかわかる索引もついています。

どう学ぶのか、なぜ学ぶのか。



『蜂と蟻に刺されてみた』

ジャスティン・O.シュミット 著

白揚社(486シュミ)

自分が実際に虫に刺されることで、その痛みを数値化した研究者がいます。チクっとする軽い痛みから焼かれるような激しい痛みまで、多種多様な痛みを味わった自身の体験談を交えながら、毒針を手に入れた蜂・蟻の進化の秘密に迫ります。

溶岩流の中にいるような痛み、想像できますか？



『色の物語 青』

ヘイリー・エドワーズ＝デュジャルダン 著 丸山 有美 訳／翔泳社(702エドワ)

古代エジプトの青いスフィンクスや北斎が好んだプルシアンブルーなど、芸術の中にある青色を作品とともにたどります。ピカソが悲しみを表現し、マティスが暖かさをイメージするなど、一つの色の奥深さを感じることができます。

ピンク・黒・赤・ゴールドもあり、カラフルなシリーズです。



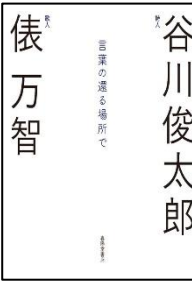
『それは宇宙人のしわざです』

葉山 透 著

幻冬舎(Fハヤマ)

新人編集者の雛子はUFOに誘拐された少年・竜胆を取材するも、宇宙人の探求に熱心な彼に翻弄されてばかり。そのうえ何者かに襲われてしまう。宇宙人の仕業だと喜ぶ竜胆と真相解明に乗り出す雛子だが、果たして犯人に辿り着けるのか。

夢中になるのもほどほどに…？



『言葉の還る場所で』

谷川 俊太郎・俵 万智 著

春陽堂書店(914. 6タニカ)

詩人・谷川俊太郎と歌人・俵万智は、同じ表現者でありながらも、その価値観や作品への思いをかなり異にしています。詩と短歌の相違点や谷川俊太郎による「33の質問」など、言葉の達人たちがとことん語り合った対談集です。

夢の対談が実現！